

# 構造土質委員会だより

建設コンサルタンツ協会 中部支部  
技術部会 構造土質委員会 発行

構造土質委員会の平成 30 年度の活動内容についてご報告します。

## 1. 委員会活動

4 月～12 月まで 1 か月に 1 回、計 9 回、役員会・技術部会や対外活動などの報告、技術講習会・現場見学会の立案検討などについて討議する、定例委員会を開催しました。

## 2. 構造土質検討グループ 平成 30 年度総会

構造土質検討グループの総会を、以下のとおり実施しました。

日 時：平成 30 年 7 月 11 日（水）14：00～17：50

場 所：名古屋市東区 imy ホール

参加者：56 名（25 社）

内 容：

### ①平成 29 年度活動報告

- ・構造土質検討グループ活動として、構造土質検討グループ総会、技術講習会（2 回）、現場見学会を開催
- ・4 委員会合同行事として、業務技術発表会を開催
- ・社会貢献活動として、建設技術フェア「学生交流広場」、建設コンサルタントフェア 2017 in 中部に参加
- ・定例委員会を 9 回開催
- ・愛知県建設技術研修へ講師を派遣
- ・道路橋メンテナンス技術講習へ講師補助として参加

### ②平成 29 年度活動計画

### ③講演「大地震から学ぶ活断層とのつきあい方」

名古屋大学 減災連携研究センター  
鈴木 康弘 教授

### ④意見交換会

講演においては、鈴木康弘教授より熊本地震について数多くの貴重な現地調査写真を元に地表地震断層や複数の断層による道路・建物被害の傾向等について講演頂きました。地震は全国どこでも起きることを前提に活断層の位置を知り、直下のリスクを考慮した防災意識を高める必要性があると述べられました。

講演後は、総会参加者全員が会場を同ホールの 9F に移して、約 1 時間半、軽食をとりながら、講演内容及び会員相互の意見交流などが行われました。



鈴木教授による講演



意見交換会

## 3. 第 1 回技術講習会

第 1 回技術講習会を、以下のとおり実施しました。

日 時：平成 30 年 10 月 10 日（水）13:30～17:30

場 所：名古屋市東区 東桜会館

参加者：57 名（28 社）

内 容：

### ①「BIM/CIM の実現に向けた 3 次元データの流通と利活用（BIM/CIM の活用と規格・基準の動向）」

国土交通省 国土技術政策総合研究所  
社会資本マネジメント研究センター  
社会資本情報基盤研究室

青山 憲明 主任研究官

### ②「コンクリート構造物の長寿命化に向けて新材料を使いこなす」

岐阜大学工学部社会基盤工学科

インフラマネジメント技術研究センター

国枝 稔 教授

講習①では、建設業界の生産性向上は社会的要請であり、CIM の活用は必須であること等の説明、CIM 導入ガイドライン（案）などの基準類の策定・改定の紹介により、今後の CIM 活用に関する体系的な理解が得られました。

講習②では、補修と再劣化に関する考察、再劣化リスクを低減する新材料の事例や耐久性調査結果が数多く説明されました。また、「安全×デザイン思考」で維持管理を変えるという考えが示され、「問題を自ら創造する」という観点から使用者志向の維持管理への転換が提唱されました。



青山主任研究官による講義



国枝教授による講義

## 4. 第 2 回技術講習会

第 2 回技術講習会を、以下のとおり実施しました。

日 時：平成 30 年 12 月 5 日（水）13:30～17：00

場 所：名古屋市中村区 名古屋国際センター

参加者：64 名（32 社）

内 容：

### ①「H29 道路橋示方書の改定に伴う支承部の設計について」

ゴム支承協会 植田副技術委員長、久慈技術委員

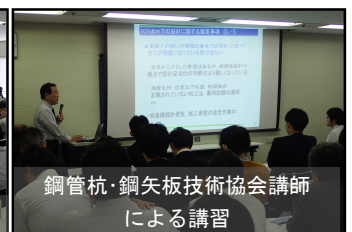
### ②「H29 道示による鋼管杭の設計」

（一社）鋼管杭・鋼矢板技術協会 日下氏、水谷氏、澤石氏

講習においては、各協会の取組の紹介、ゴム支承、鋼管杭の H29 道路橋示方書改定のポイントの他、ゴム支承については「道路橋支承便覧」の改訂、鋼管杭については設計計算例の説明を受け、設計のポイントを学ぶことができました。



ゴム支承協会講師による講習



鋼管杭・鋼矢板技術協会講師による講習

# 構造土質委員会だより

建設コンサルタンツ協会 中部支部  
技術部会 構造土質委員会 発行

## 5. 現場見学会

現場見学会を、下記のとおり実施しました。

日 時：平成 30 年 11 月 7 日（水）8:30～17:00  
場 所：オリエンタル白石 滋賀工場  
（PC 橋梁上部工の桁製作工場見学）  
東海環状自動車道 北方第 3 高架橋  
（PC 橋梁上部工の架設現場見学）  
参加者：31 名（15 社）

オリエンタル白石滋賀工場では、プレキャストセグメント桁のセグメント接合部詳細、PC 床版の PC 鋼材緊張システム等の見学ができました。また、東海環状自動車道の現場では橋面上からの横桁部・床版部配筋状況等の見学、VR を利用した玉掛訓練、高所作業体験等ができ、有意義な見学会となりました。



## 6. 業務技術発表会

技術部会主催による 4 委員会合同行事として、業務技術発表会を実施しました。

日 時：平成 30 年 10 月 3 日（水）13:00～19:00  
場 所：名古屋市中村区 ウィンクあいち  
参加者：262 名（発表者含む）

構造土質委員会関連では、以下 5 編の論文発表があり、篠原氏が最優秀賞、溝渕氏が優秀賞を受賞しました。

- ①断層破砕帯を横過する橋梁の橋梁計画  
—三遠南信自動車 8 号橋—  
篠原 一輝（株式会社オリエンタルコンサルタンツ）
- ②地盤改良杭を有するボックスカルバートの補強検討について  
溝渕 真之（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
- ③耐力が不足する杭基礎を有した橋梁の耐震補強設計  
田口 宜男（大日コンサルタント株式会社）
- ④栈道橋の構造変更による耐震対策  
九里 和哉（中央コンサルタンツ株式会社）
- ⑤重交通路線における効率的な鋼桁亀裂補修設計  
日比野 美香（株式会社長大）

## 7. 道路橋示方書改定に伴う設計計算例講習会運営補助

平成 30 年 7 月 5 日に開催された講習会の運営補助として参画しました。

## 8. 社会貢献活動（建設コンサルタントフェア）

「建設コンサルタントフェア 2018in 中部」は、「JCCA 中部支部は、『確かな未来をデザイン』し、安全・安心・快適な暮らしに貢献します。」をキャッチフレーズとして開催され、金山総合駅コンコース会場で一般の方への業界紹介を行いました。

日 時：平成 30 年 11 月 25 日（日）  
場 所：金山総合駅コンコース

橋梁計画・橋梁設計、耐震補強、維持管理の業務内容を示したパネルを用いた説明の他、模型実演による土木構造物の働きについての解説を行うことで、建設コンサルタントが果たす役割や、業務内容についての PR を行いました。



展示パネルの例

## 9. 講師派遣

愛知県建設技術研修の 4 講座（10 講習）へ講師を派遣しました。

講習内容		派遣者
橋梁設計実務講座	橋梁計画概論	鯉川 委員
	仮設構造物の計画・設計	橋本 委員
	橋梁下部工の設計	牧野(成) 委員
	橋梁上部工の設計	長谷川(正) 委員
	耐震設計と補強工法	藪委員
橋梁維持補修（橋梁点検）講座	橋梁定期点検について	榮 氏 渡辺 氏 山田 氏
	現場実習（鋼橋・コンクリート橋） 点検調書の作成 点検結果の解説。講評	
設計エラー防止講座	土質・地質調査の計画、実施及び結果の評価	水野 委員
	橋梁	長谷川 副委員長
事例で分かる土木設計実務講座	設計事例演習・解説	北堀 委員

### 【編集後記】

構造土質委員会に対する要望（講習会テーマ、現場見学場所等）がございましたら、建コン中部支部構造土質委員会までお寄せ願います。

平成 31 年度も、構造土質検討グループ・構造土質委員会の活動に対し、積極的なご参加をお願いいたします。

〔構造土質委員会 編集者〕